2021年3月6日

差枚	-337枚	RANK	B

実戦機種

バーサス、SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～絆2、アイムジャグラーEX、ほか

実戦レポート

3月はここまで差枚数だけなら2連勝と好調に見えるが、高設定を捨てたり、譲ってもらったりと、どうにもスッキリしない内容となっている。だから今日こそは…！と意気込みながらの入場抽選ではいきなり出鼻を挫かれ、64人中「54番」というなかなか辛い位置でのスタートとなった。だが本日のホールは、ノーマルタイプの設置台数・高設定投入率が比較的高く、かといってAT・ART機も決して無視できないという、良く言えばどのコーナーにもチャンスがある、悪く言えばかなり狙い台が絞りづらい傾向がある。なので手堅くノーマルタイプのシマから見ていくと、高設定の投入頻度が比較的高めなバーサスが空いていたので、1台目はこれに決めた！
とはいえ、半ば当てずっぽうの台選択であることは否めないので、慎重にこまめに店内を調査し、好調台の末尾を意識して見ていくと、まだ早い段階ながら当り末尾の候補が2つ浮かび上がってきた。自分のバーサスの各種確率があまり奮わないこともあり、早めにその末尾を重点的に攻める戦法に出た。前回、同じような立ち回りで高設定に辿り着きつつも捨ててしまったが、良かった点はそのまま踏襲し、悪かった点を修正すればよいだけのことだ。

しかし例によって、当り末尾だとしてもその全てが高設定とは限らないので、比較的リスクの低いノーマルタイプから試し打ちしていく。…うーん、パッとしないなぁ。そもそも、候補を絞ったといってもまだ2つあるので、そのどちらかが当りだとしても1/2。さらには、全台が当りとは限らず、仮に対象末尾の半分が高設定だとしても、そのさらに1/2。つまりは1/4でしか高設定に辿り着かないことになる。それでもアテにせず立ち回るよりはマシと取るか、それともこの思い込みにとらわれず攻めた方がいいのか…。悩みつつ決めかねていると、序盤から早めのAT突入を重ねて、2000枚ほど交換した「バジリスク絆2」が空き台になっていたので、とりあえず末尾の推測は置いておいて、これを打ってみることにした。すると、最初のBCが推定低確から一発でATに突入し、おまけに1戦目からストックも保持。このATは3連で終わってしまったが、お次は全く期待していない状況から同色BCを引き、こちらもAT突入。さらにAT中にも同色BCを引いて…え、なんかめちゃくちゃ高設定っぽくないか？　なんやかんや続行すると、残念ながら設定6ではない気配になってしまったが、奇数挙動にも見えるし、設定5の可能性ならまだまだあるぞ…。この「設定5を意識する立ち回り」は、そのホールが設定5を投入するかどうか、そして自分がそれを見抜けるかどうかが最大の焦点となる。オレは…くそっ、自信が無ぇ！　結局このバジリスク絆2も手放し、その後は「最後の手段」とばかりに6号機ジャグラーの末尾攻めを敢行するも、持ちメダルをマイナス域まで減らして終了。そして最悪なことに、バジリスク絆2はおろか、序盤に打ったサンダーも高設定だったってよ！　また捨てたのかよ…情けねぇ。